

# 実践教育・心理検査基礎講座

— 教育・心理検査の理解と活用 —

期日 2023年 7月 27日(木)・28日(金)

会場 東京都千代田区 **日本教育会館** 第一会議室・8階

**ねらい** 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、近年、児童・生徒と学校をとりまく学習環境は、大きな変化を余儀なくされました。これまで以上に、学習指導の工夫や、学力の確実な定着が求められることとなりました。また、新たな環境のもとで生じた児童・生徒の適応上の問題や、いじめ問題への適切な対応も必須となっています。

このような学校教育を取り巻く状況を踏まえ、本講座では各種教育・心理検査の講義や事例紹介などを行ってまいります。これらを通して、各検査の意義や活用のための基礎的・基本的な事項を研修していただき、その結果として、本講座の内容が実際の指導や評価の場面で役立てられることを目的とします。

**主催** 一般社団法人 日本図書文化協会  
一般財団法人 応用教育研究所  
日本教育評価研究会  
**後援** NPO 日本教育カウンセラー協会

**開催に関して** 本講座に関する情報は変更の可能性がございますので、図書文化社 HP にて最新情報をご確認ください。新型コロナウイルス感染拡大防止および感染予防対策については裏面をご確認ください。

日時	テーマ	内容	講師
7月27日(木)	9:30 ~ 9:40	開講の挨拶	一般財団法人 応用教育研究所 所長 文教大学学長 <b>石田 恒好</b>
	9:40 ~ 10:55	教育・心理検査概説	教育・心理検査の分類、主要な検査、検査の実施方法、結果の表し方と読み取り方などについて概説する。 法政大学教授 <b>服部 環</b>
	11:15 ~ 12:25	認知能力検査(NINOとKABC-II)の活用	児童生徒の学力の向上に向け、集団式(NINO)と個別式(KABC-II)という2つの認知能力検査の活用について解説。 東京家政大学教授 <b>平山 祐一郎</b>
	13:30 ~ 14:40	学力向上に生かす教育・心理検査とそのバッテリー利用	標準学力検査「NRT」「CRT」について、その特徴を述べ、さらに他検査とのバッテリー利用を解説する。 一般財団法人 応用教育研究所 副所長 <b>堀口 哲男</b>
15:00 ~ 16:55	Q-Uを活用した学級集団づくりと学力向上	児童生徒理解が学級集団づくりと学力向上につながる。Q-Uを活かした児童生徒・集団の理解について解説する。 会津大学教授 <b>苅間澤 勇人</b>	
7月28日(金)	9:30 ~ 11:25	第一分科会 A 学校における教育・心理検査の活用例 B Reading-Testと読解力 C 個別認知能力検査 KABC-IIの理論と実習	授業と家庭学習をつなぐ「主体的な学び方」の育成…アセスメントとメタ認知・自己調整学習の育成を基盤に… 西九州大学非常勤講師 <b>池之上 義宏</b> 一般財団法人 応用教育研究所 課長 <b>納富 涼子</b> 山梨大学准教授 <b>永田 真吾</b>
	12:30 ~ 14:25	第二分科会 D Q-Uによる実践研究 E 個別認知能力検査 KABC-IIを指導に活かす	Q-Uの結果を学級づくりや授業改善に活かすにはどうすればよいか。活用事例を紹介しながら解説する。 神奈川県立保健福祉大学教授 <b>深沢 和彦</b> 和光大学教授 <b>熊上 崇</b>
	14:45 ~ 15:55	チーム学校によるガイダンス カウンセリングとアセスメント	「チーム学校」のねらいとつくり方を説明し、チーム学校の軸となるすべての子どもへのガイダンス カウンセリング(スクールカウンセリング)とその基盤となるアセスメントについて解説する。また2022年12月6日に出された「生徒指導要領」の改訂版についても、チーム学校の視点から触れる。 東京成徳大学大学院心理学研究科長 筑波大学名誉教授 <b>石隈 利紀</b>

(注) 第一分科会はA,B,Cのいずれかを選択受講していただけます。第二分科会はD,Eのどちらかを選択受講していただけます。各分科会とも定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。 2023年4月現在

**対象** 小学校・中学校・高等学校の先生／教育委員会・教育研究所の指導主事・所員等

**定員** 150名

**申込締切** 2023年 7月 7日(金) 郵送申込：締切日必着 定員になり次第締め切ります。受付状況は事前HPをご確認ください。当日会場での申込はお断りいたします。  
Web申込：締切日の15:00まで

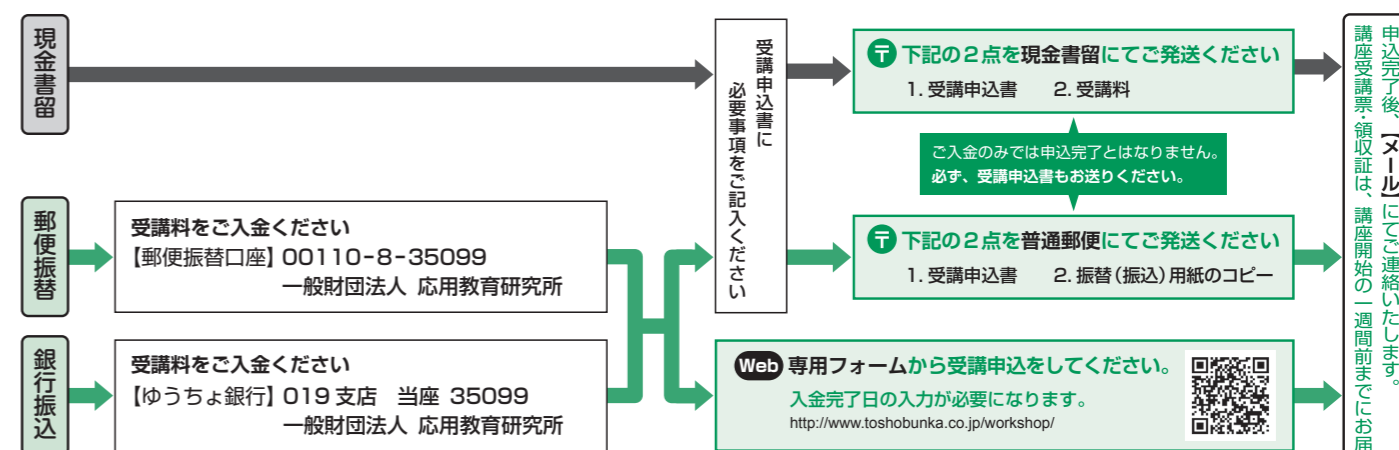
**受講料** 6,000円(資料代含む。全日受講者には後日修了証を発送いたします。)

- 日本教育評価研究会会員・日本教育カウンセラー協会会員は5,000円
  - 第65回指導と評価大学講座と同時申し込みは本講座3,000円
  - 本講座受講と日本教育評価研究会入会\*との同時申し込みは計10,400円
- \*講座開始10日前までにキャンセルのご連絡をいただき所定の手続きが済んだ方には手数料2,000円を差し引いた金額を返金いたします。



\*年会費5,400円分 機関誌「指導と評価」毎月送付

**申込方法** 以下のいずれかの方法で、それぞれの手順に沿ってお申し込みください。(郵送料、手数料はお客様のご負担となります。)



**申込先** 〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15 アトラスタワー茗荷谷3F 一般財団法人 応用教育研究所 実践教育・心理検査基礎講座 係  
TEL: 03-3947-7031 (直通) 受付時間 9:00~12:00/13:00~17:00 (土日祝祭日を除く)

**備考** ●講義資料は当日、会場にてお渡しします。●会場には駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。●講座中、大きなお手荷物をあらかじめお預かりしています。●当日の欠席・遅刻に関しまして、ご連絡は不要です。

\*受講者名簿を後援団体に報告する場合があります。予めご了承ください。名簿記載を希望しない場合は申込書備考欄にその旨をご記入ください。

第47回 実践教育・心理検査基礎講座 受講申込書		No. _____
フリガナ氏名	自宅住所 〒 _____ ☎	第一分科会はA,B,Cのいずれかを、第二分科会はD,Eのどちらかをそれぞれ選択してください。
勤務先	勤務先所在地 〒 _____ ☎	第一分科会 <input type="checkbox"/> A 学校における教育・心理検査の活用例 <input type="checkbox"/> B Reading-Testと読解力 <input type="checkbox"/> C 個別認知能力検査 KABC-IIの理論と実習
役職・担当	メールアドレス _____ @ _____ *申込完了メールなどをお送りしますので、通常お使いのアドレスをご記入ください。	第二分科会 <input type="checkbox"/> D Q-Uによる実践研究 <input type="checkbox"/> E 個別認知能力検査 KABC-IIを指導に活かす
支払金額 一般	<input type="checkbox"/> 6,000円 日本教育評価研究会の <input type="checkbox"/> 5,000円 <input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 新規加入 <input type="checkbox"/> 10,400円 研究会同時入会申込者 <input type="checkbox"/> 3,000円 第65回大学講座受講者	支払方法 <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 銀行振込
振込名義	【備考欄】	

\*郵便振替・銀行振込にてご入金いただく方で、お申込み名義と振込名義が異なる場合はご記入ください。

個人情報について 申込時にいただいた個人情報の利用目的は、(1) お申し込みいただいた講座受講・機関誌提供。(2) 上記に関するご案内・情報提供。(3) 教育に関するアンケートやモニター調査などの協力依頼。(4) その他教育事業に関する研究・企画開発への利用、に限りです。

※必ず希望する分科会を選択(□にチェック)してください。

会場内での取り組み

- ・各箇所に手指消毒剤を常備いたします。
- ・会場内は随時換気を実施しております。
- ・座席数を会場収容人数以下に制限させていただきます。

受講者のみなさまへご理解とご協力をお願い

【ご来場前に】

- ・体調不良（発熱、咳、呼吸困難、全身の倦怠感、のどの痛み、鼻水・鼻づまり、味覚・嗅覚の異常、関節痛・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐の症状など）の場合は、ご参加をお控えいただきますようお願いいたします。

【入退場について】

- ・入場列の混雑緩和のため、入場推奨時間を設定させていただき後日ご案内いたします。
- ・お帰りの混雑を避けるため、お席の番号ごとに順次ご退場いただく場合がございます。多少お時間がかかる可能性がございますがご了承ください。

【会場でのご利用案内】

- ・受付時の接触を避けるため、専用ボックスにご自身で受講票の半券をお入れください。
- ・受講者様同士の間隔を十分に保てるよう、ご協力・ご配慮をお願いいたします。
- ・会場内でのお食事は、ご自身の座席でお願いいたします。
- ・座席は全席指定席とさせていただきます。受講者様ご自身でお席の選択は出来かねますのでご了承ください。
- ・講師への面会はご遠慮くださいますようお願いいたします。

※感染の疑いや発症者がでた場合、必要な情報を保健所等の公的機関へ提供する可能性がございます。

※上記の内容は新型コロナウイルスの感染状況、厚生労働省及び東京都の基本方針に準じて変更の場合がございます。予めご了承ください。

日本教育評価研究会認定 **心理検査士**

日本教育評価研究会では、心理検査の実践と活用に指導的役割を果たしていただける方々を、「心理検査士」として認定いたします（要申請）。詳しくは事務局にお問合せいただくか、Web サイトをご覧ください。

- 日本教育評価研究会心理検査士認定事務局 TEL：03-3943-2515
- ご案内 URL <http://www.toshobunka.co.jp/workshop/examiner.php>



**会場 日本教育会館 第一会議室・8階 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL.03-3230-2833 (道案内専用)**

- 都営新宿線・東京メトロ半蔵門線**神保町駅** (A1 出口) 下車徒歩 3分
- 都営三田線**神保町駅** (A1 出口) 下車徒歩 5分
- 東京メトロ東西線**竹橋駅** (北の丸公園側出口) 下車徒歩 5分
- 東京メトロ東西線**九段下駅** (6 番出口) 下車徒歩 7分
- JR**水道橋駅** (西口出口) 下車徒歩 15分

先生のための **教育・心理検査相談室**

講座開催期間中の休憩時間に教育・心理検査に関する相談室を開設いたします。

※開設方法等は講座当日お知らせいたします。新型コロナウイルス感染状況によって、開催を見送らせていただく場合がございます。

法政大学教授

**服部 環**

7/27

教育・心理検査概説



筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了（教育学博士）。職場では臨床心理学と精神医学を専門とする同僚に囲まれ、臨床心理学に関心を持っている学生へ心理統計学や心理データ解析法を講義しています。

東京家政大学教授

**平山 祐一郎**

7/27

認知能力検査 (NINO と KABC-II) の活用



筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。博士（心理学）。作文・読書・知能・学習指導の心理学を研究。新聞 10 紙の書評欄を読むことが趣味。そのため毎週土日の朝に近所のコンビニに出現中。

一般財団法人 応用教育研究所所長

**堀口 哲男**

7/27

学力向上に生かす教育・心理検査とそのバッテリー利用



埼玉県出身。教研式の教育・心理検査の開発に携わってきました。標準学力検査「NRT」「CRT」や、学習適応性検査、認知能力検査の作成を行ってきました。その間に、様々な調査を行いました。これらを使いながら、わかりやすく説得力のあるデータの提供を心がけています。

会津大学教授

**苅間澤 勇人**

7/27

Q-U を活用した学級集団づくりと学力向上

早稲田大学大学院博士後期課程研究指導終了退学。Q-U を学級づくりや授業づくりに活用する取り組みを支援しています。全ての子を幸せに導く学校が増えることを目指しています。日本教育心理学会理事。



西九州大学非常勤講師

**池之上 義宏**

7/28

学校における教育・心理検査の活用例

東海大学体育学部武道学科卒業（剣道教士七段）。佐賀県内の小中学校教諭、県教育事務所勤務、中学校長（2 校 11 年）を経て現職。H26～27 経産省：起業家教育普及事業委員、H28 文科省：学習指導要領の改善検討委員（中学校特別活動）、佐賀県中学校校長会会長等を歴任。



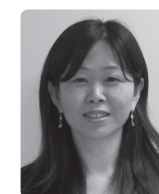
一般財団法人 応用教育研究所課長

**納富 涼子**

7/28

Reading-Test と読解力

山梨大学教育学部、筑波大学大学院修士課程修了。専門は教育心理学・臨床心理学・心理測定。読解力は学びの土台となる力であり、その育成・向上は喫緊の教育課題です。本講義では教育心理学の視点から読む力の育成についてお話しします。



山梨大学准教授

**永田 真吾**

7/28

個別認知能力検査 KABC-II の理論と実習



筑波大学大学院修士課程修了。日本 K-ABC アセスメント学会理事。子どもの教育的ニーズとアセスメント結果に基づいた ICT 活用について、文章理解やコミュニケーションを中心に研究を進めています。

神奈川県立保健福祉大学教授

**深沢 和彦**

7/28

Q-U による実践研究



早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士（教育学）。公立小学校教諭を経て現職。常に理論と実践を往還しながら、通常学級の特別支援教育、学級づくりについての研究を進めています。

和光大学教授

**熊上 崇**

7/28

個別認知能力検査 KABC-II を指導に活かす



筑波大学大学院博士後期課程修了。（博士：リハビリテーション科学）。日本 K-ABC アセスメント学会常任理事。元・家庭裁判所調査官。元気と意欲の出るアセスメントとフィードバックを研究中。

東京成徳大学大学院心理学研究科長  
筑波大学名誉教授

**石隈 利紀**

7/28

チーム学校によるガイダンス  
カウンセリングとアセスメント

アラバマ大学大学院博士課程修了。学校心理学で Ph.D.。学校・家庭・地域で、子どもをどう育てるか、教師・SC・SSW のチームでどう支援するかに関心がある。すべての子ども、多様な子どもと今と未来を、チームで支えたい。

